

御霊神社本宮神輿 (右も)

井上内親王生誕 1300 年

井上内親王生誕 1300 年・朝原内親王没後 1200 年とお祈りして 井上内親王の孫朝原内親王 没後 1200 年

井上内親王の娘 酒人内親王が自らの遺言を空海に託して 1194 年展示期間:平成 29 年 10 月 1 日(日)~12 月 22 日(金)展示場所:登録有形文化財「藤岡家住宅」内蔵 2 F展示室9 時~16 時・月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館

高校生以上 300 円・小・中学生 200 円・20 名以上 2 割引



五條市霊安寺町、御霊神社の秋祭りは、毎年10月末の土・日に開催されます。本年は10月21日(土)宵宮~22日(日)本宮で、市内の小中学生や県立五條高の生徒らが古代の貴族、官女にふんした「五條天平行列」が町中を練り歩く天平行列があり、子どもだんじりも市街地を巡行します。御霊神社は奈良時代、謀略のため廃后され五條に流されて亡くなった井上(いのえ)内親王の霊を慰めるため、平安時代に建てられた神社で、鎌倉時代から江戸時代にかけ、およそ400年の間に市内20余箇所に分祀されました。各地域の御霊神社で秋祭りが行われます。天平行列は4年目で、みこしと共に、本宮から吉野川の大川橋を渡り、御旅所のえびす神社まで行列します。藤岡家住宅の近く、近内御霊神社では、宵宮・本宮ともに美しいすすき提灯が奉納されます。本年は井上内親王生誕1300年を記念し、10月21日(土)午後1時版~「HOOKウクレレコンサートⅢ~happy&washyoi.」11月19日(日)午後1時~「ソプラノ岡田由美子&児童文学者川村優理ジョイントコンサート ~みんなでふるさとを歌いましょう~」を開催します。(共に入館料のみ。要予約。)

井上内親(いのえ ないしんのう)とは・・・養老元年(717)~宝亀6年(775)

聖武天皇の皇女・光仁天皇の皇后。御母は、県犬養宿禰広刀自(あがたいぬかいすくねのひろとじ)。

養老5年(721)5歳。 王に選ばれ、神亀4年(727)11歳にして神宮に出仕。

天平17年(745)28歳。任を解かれ、帰郷。白壁王と結婚。

天平宝字5年(761)44歳。他戸親王御誕生

宝亀元年(770)白壁王即位。第49代光仁天皇。井上内親王立皇后。翌年他戸親王立皇太子。

宝亀3年(772)55歳、巫蠱(ふこ=人を呪うこと)の罪により、皇后・皇太子を廃し、さらに、宝亀4年(773)56歳、井上内親王を厭魅(えんみ=(妖術で人を呪い殺すこと)の罪により、大和国宇智郡没官の宅に流罪、幽閉。この地に至り火雷大神をお産みになったと伝えられる。

宝亀 6 年(775) 4 月 25 日(27 日の説あり) 59 歳(58 歳)。他戸親王(15 歳)にして、母子、暗殺され逝去と伝えられる。

都に天災相次ぎ、悪疫流行した為、朝廷は、内親王母子の霊魂の祟りと恐れ、都では御霊会を営み、墳墓を改葬する 等して慰霊に勤めるも異変続く。

延暦 19年 (800) 7月、内親王を皇后に復し、霊安寺を建立。御霊を安め奉る。

霊安寺創建 創建年代は不詳。霊安寺建立とともに御霊神社も創祀せられたと考えられている。

宇智郡一円が氏子であったが、嘉禎4年(1238)豪族の吉原・牧野両氏の論争に起因し、宮分けに発展したと伝えらる。論争の内容は不詳。当初10社に、徐々に宮分けが進む。

最後に慶安4年(1651)に至り、野原に分社。

400年余の間に、20余社が、宇智郡(現在の五條市)に分祀。

展示(藤岡家蔵品の内、井上内親王と五條市内の御霊信仰関連資料)

「手鑑」(井上内親王の父 聖武天皇とその皇后 光明皇后の筆跡と伝わる経文) (弘法大師空海の筆跡と伝わる経切)

「古今記」(『近内根源鏡』抄 大正 15 年 3 月 15 日)

「八幡大菩薩縁起」南海道牟婁郡 芳養 (はや) 八幡宮縁起

「延宝六年北山領 立合図」(1678年)

「阪合部母両神社神輿新調記念盃」昭和11年9月

「性霊集」より「酒人の内公主の為の遺言・弘法大師空海」内容(『日本古典文学大系』)ほか



近内御霊神社・すすき提灯

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人 NPO 法人うちのの館(やかた) **ひ**と FAX 0747 (22) 4013 〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 info@uchinono-yakata.com

